

# 競技規則等の改正のお知らせ

日本ファミリーバドミントン協会

このたび、競技規則等の改正と審判の判定基準の見直しを行いました。内容は次のとおりです。今回の改正と見直しの適用は、平成24年8月1日からです。

= 競技規則等の改正 =

<サーバーの軸足（前足）の規制に関する改正>

「サービスするとき、サーバーの軸足（前足）の裏全体がコート面に触れた状態で、静止しなければならない。」でしたが。（改正前）








◎ 「サービスするとき、サーバーの軸足（前足）の裏全体または、その一部がコート面に触れた状態であれば良い」となりました。（改正後）

<線審の任務の追加>

「サイドライン、バックライン、サービス時のレシーブ側のセンターライン」の判定が任務でしたが。（改正前）

◎ 「サイドライン、バックライン、サービス時のレシーブ側のセンターライン」の判定に、シャトルがコート外に落ちたとき、シャトルがラケットまたは、身体に触れたか触れなかったかの「ワンタッチ」の判定と「ポスト外通過」の判定が加えられました。（改正後）

審判員のハンドシグナルは次のとおりです。

<p>線審 ● ポスト外通過</p>  <p>旗を上になげ左右に振り合図する。</p>	<p>●ワンタッチ</p> <table border="1"><tr><td data-bbox="644 1469 1034 1935"><p>主審</p><p>片方の手を上げ、その手の指先をもう片手の指腹でブラシをかけるようにさする。</p></td><td data-bbox="1040 1469 1319 1935"><p>線審</p><p>旗を立て、片方の手のひらを旗先に乗せ合図する。</p></td></tr></table>		<p>主審</p>  <p>片方の手を上げ、その手の指先をもう片手の指腹でブラシをかけるようにさする。</p>	<p>線審</p>  <p>旗を立て、片方の手のひらを旗先に乗せ合図する。</p>
<p>主審</p>  <p>片方の手を上げ、その手の指先をもう片手の指腹でブラシをかけるようにさする。</p>	<p>線審</p>  <p>旗を立て、片方の手のひらを旗先に乗せ合図する。</p>			

＝ 審判の判定基準の見直し ＝

<前衛と後衛との接触の判定>

「後衛がサービスラインを超えないで、前衛のラケットや身体（着衣を含む）に触れた場合はフォルト」でしたが。（見直し前）

- ◎ 前衛のラケットや身体（着衣を含む）に触れるような、単なる接触はフォルトになりません。ただし、前衛がサービスラインより前で、後衛がサービスラインを踏み越えるのを阻止するために支えるなど、故意による接触はフォルトになります。（見直し後）

<後衛がサービスラインを踏み越えたとの判定>

インプレー中に後衛のラケットが、サービスラインより前のコート面に触れた場合、または、メガネや帽子など、身に着けている総てのものが、サービスラインより前のコート面に落ちた場合もフォルトでしたが。（見直し前）

- ◎ フォルトになるのは、ラケットがサービスラインより前のコート面に触れた場合のみとなりました。（見直し後）

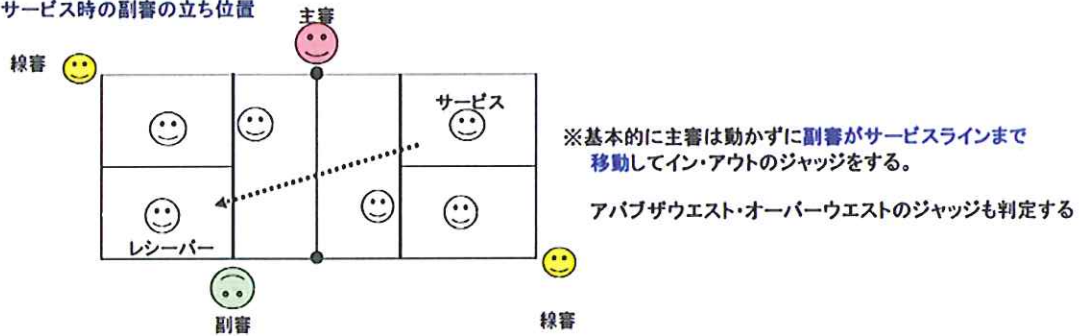
<シャトルがネットに掛かったときの判定>

前衛、後衛の区別なく、1打目のシャトルがネット面に掛かって停止した場合は、不可抗力との判断で「レット」、2打目はミスショットの判断で「フォルト」になっていましたが。（見直し前）

- ◎ 2打目のシャトルが、相手コートのネット面に掛かって停止した場合は、2打目であっても不可抗力との判断で「レット」とすることになりました。（見直し後）

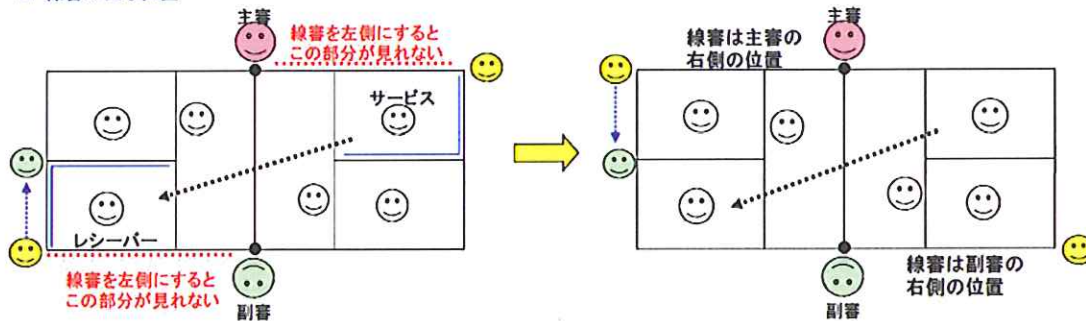
1. サービス時の副審の立ち位置について

1. サービス時の副審の立ち位置



2. 線審の立ち位置について

2. 線審の立ち位置

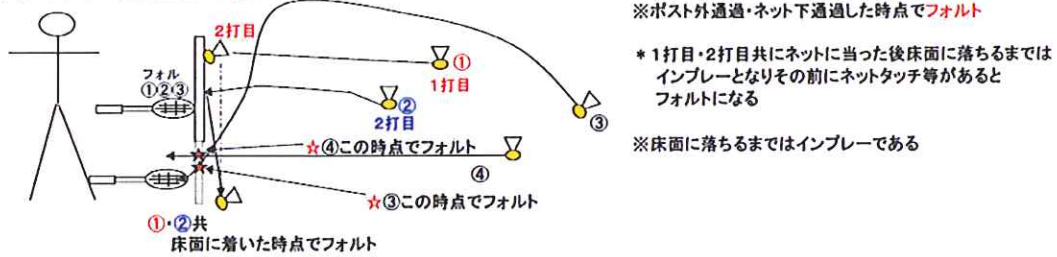


3. インプレーとは

主審のホイッスルでインプレーとする。但しサーバーの用意が出来た時点でホイッスルを鳴らすよう指導を行う。

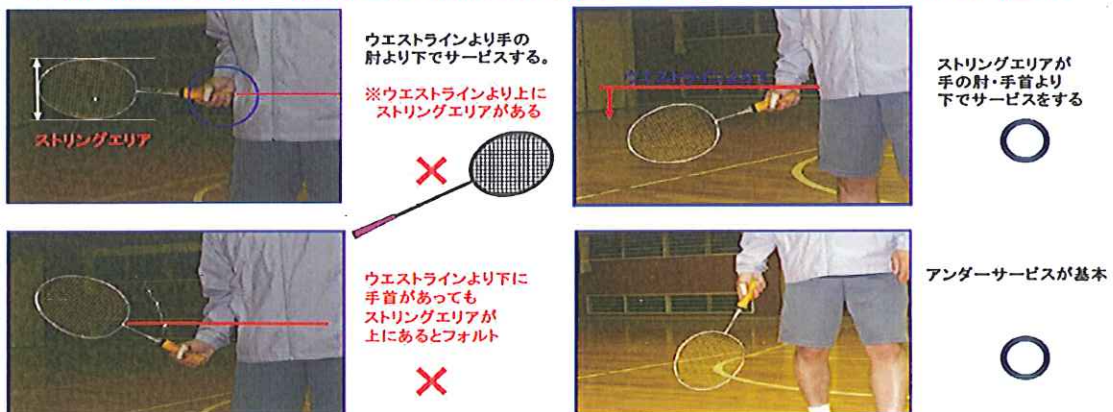
4. フォルトについて

4. ネットの下・ポスト外を通過した時点でフォルト。



5. オーバーウエスト・オーバーハンドについて

5. オーバーウエスト・オーバーハンドの定義は「シャトルおよびラケットのヘッドおよびストリング・エリアがサーバーのウエストライン及びサービスする手の肘・シャトル及びラケットのヘッド及びストリング・エリアがサーバーのウエストライン及びサービスする手の肘・手首より下でなかったとき。」



(1回注意チームで)